



石越地域

Vol.01

学校再編だより

登米市教育委員会学校再編推進室

令和元年6月発行

TEL : 0220-34-2670

FAX : 0220-34-2504

Mail : gakkousaihen@city.tome.miyagi.jp

教育委員会では、これまで学校再編について、保護者や地域の皆様から座談会等を通して多くのご意見を頂いてまいりました。これらの意見等を踏まえながら、平成31年3月に「登米市立小中学校等再編構想」を策定し、今年度より、登米市の子供達のために学校再編の具体化について進めてまいります。

このお知らせは、登米市の学校再編についての検討状況等について、お知らせするためのものであり、今後も随時発行してまいります（市ホームページでもご覧いただけます）。

学校再編に係る座談会を開催しました

5月15日から30日まで市内9町域で「学校再編に係る地域座談会」を開催しました。座談会には、小・中学校等の保護者や地域住民など合わせて236人が出席しました。

石越地域については、5月30日に石越総合支所にて開催し、25の方が出席しました。

座談会では、再編構想の内容や今後の学校再編の進め方について、保護者、地域住民の方それぞれの視点から多くの意見を頂きました。

今後は、地域ごとに「学校再編準備委員会」を設置し、「地域別再編実施計画」の策定を進めていきます。

座談会で寄せられた主な意見（石越地域分）

Q 学級編成の基準について、全学年で35人学級にすることはしないのか。

A 市教育委員会で県、国に対して全学年における35人学級の要望を行っているところであるが、実現には至っていない。今回の学校再編については、現在の基準に沿ったかたちで進めていく。

Q 教育委員会からの情報発信が不足している。

A 市広報紙やホームページなどを通して情報発信をしてきたが、十分ではないと感じている。今後設置する学校再編準備委員会の内容や学校再編の進捗状況などは、随時情報提供する。また、学校を通じて情報を発信するなど、より良い発信方法を検討していく。

Q 地域ごとに再編の方針があるが、各地域の再編の開始時期、完了時期は決まっているのか。

A 計画期間を10年程度とし、早期に再編が必要な学校を5年後までの前期計画に区分し、前期計画の進捗状況や児童・生徒数の推移により再編する学校を後期計画に区分し再編を進める。計画期間内での統合を目指しているが、話し合いの進捗状況や校舎活用の方向性などにより前後する場合もある。

Q 石越地域には小学校、中学校を残して欲しいと思っている。学校は地域の中心としての役割も持っていると思う。子供の減少を抑えるためにも地域に小学校と中学校を残していただきたい。

A 各地域で学校を拠点とした地域づくりが行われており、地域にとっての学校の重要性も認識している。今後もそのような取組が継続できるよう配慮しながら、将来の子供たちのための教育環境の整備を行っていききたい。

学校再編の詳細は、市ホームページに掲載しています。

URL (<https://www.city.tome.miyagi.jp/kurashi/kosodate/kyoikuinkai/saihensebi/index.html>)

※ 右のQRコードからもアクセスできます。



学校再編準備委員会の設置について

教育委員会は、各地域の実情を踏まえた学校再編を進めるため、各地域に学校再編準備委員会（以下「準備委員会」という。）を設置します。

● 委員の構成

- 1 小中学校児童生徒の保護者の代表者
- 2 学校運営協議会の代表者
- 3 行政区長会等の代表者
- 4 未就学児の保護者の代表者

※ 広く意見を頂くために委員以外の方にも準備委員会への出席をお願いすることがあります。

● 活動内容

準備委員会では、「地域別再編実施計画」策定のために、次の事項について検討し、教育委員会と合意形成を図っていきます。

- 1 統合の実施
- 2 再編新校の位置
- 3 統合の時期
- 4 通学支援
- 5 その他必要事項

● 設置時期

前期計画の地域（東和、米山、南方、津山）は、今後、順次設置を行います。後期計画の地域（迫、登米、中田、豊里、石越）は、現段階ではまだ先の取り組みになりますが、前期計画の地域の進捗状況によっては設置時期が早まる可能性があります。



学校再編の進め方（概要図）

